

令和8年度 中央大学学術講演会

遺跡に見る日本古代の宗教観

令和8年
6月13日(土)



13:30~15:00 (開場 13:00)

会場

キョウワグループ・テルサホール

大会議室 あぶくま
(福島市上町4番25号)

定員 100名

事前申込不要・当日先着順

テルサ
駐車場案内



パークアンド
ライドについて



※テルサ駐車場台数には限りがございます。
パークアンドライドをはじめとする公共交通機関のご利用にご協力ください。

参加費

無料



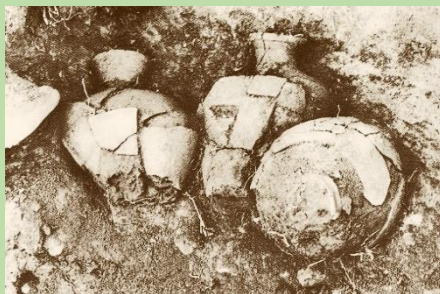
講師

小林 謙一

(中央大学文学部教授)

【講演概要】

縄文・弥生・古墳時代における自然環境や文化的・社会的な差異が宗教観に大きく影響し、それらは現在の我々にも繋がりを示すと考えられます。遺跡や遺物、考古学の最新成果からそれらを探ります。



青柳遺跡 (弥生時代)
再葬墓



月ノ輪山1号墳全景
(古墳時代)

主催:中央大学・福島市

問合せ:福島市文化振興課(TEL:024-525-3785)